

ひょうたんいけ

桜台小 学校だより
令和4年5月23日
第9号



5月10日(火)、1年生が生活科の授業で植木鉢にアサガオの種を植えました。先週はじめに双葉が開き、これからしばらくすると本葉が出て、どんどんつるが伸びてきます。子どもたちは登校すると、毎朝ジョウロ代わりのペットボトルに水をいっぱい入れ、みんなで集まって水をあげています。ペットボトルの水を入れ替えた時に空気の泡がブクブクとなっているのを見て、ある子が「校長先生、アサガオさんが今、水を飲んでいるんだよ」と話しかけてくれました。こういった子どもたちの発想は本当におもしろく、「小さいながらもさまざまなことを見て、日々感じながら成長しているんだ」と実感しています。

子どもたちは学校生活の中で、なかまとのかわり、授業における意見の交流、校外学習や自然観察、実験や体験活動などの中で、それぞれが自分の思いを持ち、さまざまなことを感じながら成長しています。毎日人と人とがかかわりながら学校生活を共に過ごしているのですから、うまくいくことばかりではありません。時にはなかまと言ひ合いになったり、うまく進まなかったりすることもあるでしょう。しかし、その一つ一つの積み重ねが今はとても大切です、将来大人になった時には、経験としてとても役に立ちます。「失敗は成功のもと」とも言いますが、子どもたちにはさまざまな体験や経験を重ねる中で、心豊か、感性豊かに育ってほしいと思います。

※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。



第1回コミュニティスクール会議が開催されました。

5月12日(木)、午前中に『第1回コミュニティスクール運営協議会(CS)会議』が開かれました。この会議は、本校の学校教育目標『夢と希望をもち 心豊かに学び合う子どもの育成』を達成するため、学校が行っているさまざまな教育活動について、地域の代表の皆様からご意見をいただき、学校運営にいかしていくための場となっています。今回、委員の方にお集まりいただき、授業参観の後、児童の様子や学校づくりビジョン(本校ホームページに詳細を掲載)などについて、以下のようなご意見(概要)をいただきました。

- 5, 6年生で教科担任制が行われているが、5, 6年生の児童はその変化を受け入れることができているか。
⇒1, 2年生では書写、3, 4年生では音楽、図工、書写において専科教員による一部教科担任制を行っており、これまでの児童の過程から、戸惑っているという感じはなく、受け入れていると感じる。
- タブレット活用や学習ドリルの活用など、ICT環境が教育現場にどんどん入ってきているが、授業で効果的な活用をするために、どのような手立てをとっているのか。
⇒職員会議や全体研修会、職員打合せ時に時間を取り、ICT機器の授業における効果的な使用について適宜情報交換を行っている。
- 児童の体力が落ちてきているという話について、こういったことが原因として考えられると分析しているか。
⇒昨年度、コロナ禍で児童が活動を制限されたことも一つの要因ではあると考える。現在は昔のように公園でキャッチボールをする児童も少なく、投げることについては、測定をする前に、投げ方の技術指導が必要かもしれない。短距離については、向かい風、追い風などの条件によっても多少記録は変わってくる。
- 登校見守りをしているが、昨年度末の会合以来、学校からの指導もあって、児童が手を挙げて横断歩道を渡るようになってきている。今後も地域ぐるみの運動としてやっていけるとよい。
- 児童がしっかりとあいさつをしてくれる。朝、登校見守りをしているとても気持ちがいい。大人同士もあいさつができるような、そんな地域となっていってほしい。
- 校舎内の環境美化が意識されていて、児童の学習環境が整っているように感じた。
- 昔、登校リーダーが旗を持って横断歩道を渡している時期があった。現在そうすることは難しいのだろうか。
⇒児童の場合、旗を振り回したり大きく車道に出て横断歩道を渡したりでより危険を伴うことが予測できる。
- 仕事の都合で、今年度は登校見守りをする事はなくなったが、児童が「お久しぶりです」と地域で声をかけてくれることがあり、「覚えてくれているんだ」と嬉しい気持ちになった。



委員の皆様からいただいたご意見を参考に、本校の教育活動に役立てていきます。

(文責 北住 昌文)